

平成 28 年 12 月 8 日

国交省横浜国道事務所長殿
東日本高速道路㈱横浜工事所長殿
横浜市道路局長殿

横浜環状道路（圏央道）対策連絡協議会
会長 比留間哲生

質問・回答会議（平成 28 年 12 月 20 日）における追加質問について

2016 年 11 月 16 日に開催した標記会議における回答を頂けなかった質問内容について、12 月 20 日に再会議を開催することになりましたが、この会議時にご回答を頂きたい下記追加質問を提出致しますので至急ご検討の上、併せてご回答願いたい。

記

追加質問—1 庄戸トンネルのパイロットトンネル覆工について

庄戸パイロットトンネルの一部が工事車両の回転場所等に使用する為 W21.1m×H14.7m の完成形の大断面となる。しかし、今回の工事発注には $t=700\text{mm}$ の覆工コンクリートの施工は含まれていない。

庄戸トンネル技術検討会では庄戸トンネルについては土被りが浅いこと、大断面であること、何より住宅地に近接していることから覆工コンクリートにも全荷重を負担させることとしている。

万が一地震でも起きれば土圧により、先日の博多地下鉄のトンネル事故と同様の陥没事故が生じかねない。例え安全だと説明されても設計通りに完成していない状態では安心することは出来ない。覆工コンクリートを施工してください。

追加質問—2 横環南線シールドトンネルのセグメント厚みについて

横浜湘南道路のシールドトンネルのセグメントの厚みを 450mm から 535mm に変更したと 11 月に開催された事業評価監視委員会で明かされた。岡山県倉敷市の水島製油所のトンネル水没事故を受けての再検討によるものと説明されている。

土木学会・日本下水道協会の「シールド工用標準セグメント」によればシールドトンネルの直径とセグメントの厚さの比は 4% 以上が望ましいとなっている

横浜湘南道路のシールドトンネルの直径は 13.1m で、セグメントの厚みを変更前の 450mm の場合は厚さ/直径の比は 3.44% と 4% より小さいが変更後の 535mm では 4.08% となる。

横環南線ではシールドトンネルの直径 15m に対しセグメントの厚みは 460mm で、厚さ/直径の比は 3.07% と横浜湘南道路の見直し前の数字よりも小さい。安全の為少なくとも 600mm 以上にセグメントの厚みを変更するよう要求します。

以上